

令和5年度第1回米原市健康づくり推進協議会 要点録

日時：令和5年6月21日（水）19:00～20:30

会場：米原市役所本庁舎 3DE会議室

【出席者】

（一社）湖北医師会	中村 泰之（会長）
滋賀大学教育学部	久保 加織（副会長）
（福）市社会福祉協議会	伏谷 勇恭
米原市商工会	北川 敬子
J Aレーク伊吹農協職員	山中 修治
市健康推進委員会	堀田 美岐子
校長会代表	廣瀬 雅一
保育園・幼稚園代表	四方由美子
市スポーツ推進委員協議会代表	中野 民子
給食センター	岸 陽子
公募	三輪 恵美

【欠席者】

（一社）湖北歯科医師会	伊藤 宗寛
湖北健康福祉事務所（長浜保健所）	嶋村 清志
市老人クラブ連合会	宮野 節兒
市女性の会	野一色 順子
いぶきスポーツクラブ	西脇 栄子
公募	堀江 里美

【事務局】

くらし支援部長	松岡
健康づくり課長	安田
健康づくり課長補佐	細溝
健康づくり課主任	中澤

【傍聴者】

長浜保健所

【要点録】

1. 開会（挨拶：くらし支援部長）

- 委員の出席者数の確認（11名/17名 出席）

規則第5条第2項により、過半数の出席があるため会議として成立

2. 議事

(1) 健康まいばら21(第3次)計画素案(序章~第3章)について

- 事務局 資料1 説明
- 会長 ご意見等をお願いします。
まずは第2章「理念と方針(仮)」について、いかがでしょうか。
- 委員 基本理念はわかりやすいと考えています。
ただ、基本方針1や2はわかりやすいのですが、基本方針3の「社会環境の質の向上」について、質の内容がわかりづらいので、より具体的にできるとさらによくなると考えています。
- 委員 全体としては、皆さんにとってわかりやすい基本方針になっているかと思います。
会長 基本方針1が最もわかりやすく、自分を知って自分に合わせる事が大事です。
一方で、基本方針3の「社会環境の質の向上」の質が何なのかがわかりづらいので、詰めていく必要があるかと思います。
委員 第3章の「まいばらんす!の取り組み」について、まずは「1 生活習慣病の発症予防と重症化予防」について、いかがでしょうか。
- 委員 基本方針も含めて、わかりやすいと感じました。米原市の皆さんは健康づくりに関心を持っておられて、健診にも来ておられて、率も上がっているので、健康への意識は強いと考えています。
- 会長 「2 生活習慣の改善」については、いかがでしょうか。
- 委員 基本方針1などはわかりやすいと思いましたが、基本方針3は漠然としていて、自分とは関わりが薄いと感じます。基本方針1と2が具体的な内容なので、基本方針3について一緒に考えていければと思いました。
がん検診を受けたことがなく、特定健診などは受けるのですが、働き盛りの子育て世代が受けられていない現状にあり、クーポンも資料を読んで初めて知ったので、20代、30代のお母さんに上手く伝わればよいと感じました。
子宮頸がん予防のワクチンについて、娘が対象で封筒が来ますが、情報がよくわからず、受けるべきなのかどうか判断するための情報をどこから得ればよいかがわかりません。学校でがんについては教育していると思いますが、保護者も一緒に情報を得られると、保護者のがん検診にも繋がっていくと思います。
- 事務局 乳幼児健診にお母さんが来られるので、そこで健診勧奨を行っています。また、託児付きの健診の日程も設定しています。
妊娠経過を見て、血圧が高い、糖尿病があるなどがあれば、訪問で健診を勧めるなどはしています。
子宮頸がん予防のワクチンについては、対象年齢の方に直接お会いする機会があまりないので、通知という形になってしまいます。市が進めるというよりも国が進めていることとはいえ、知られていないことはよくないことと捉えています。
副反応などはなく効果的だと聞いていますが、最終的には保護者の判断になります。子どもたちが怖がらないようになればと考えています。
- 会長 初期は接種の痛みで失神するぐらいのものでいったん中止されました。ただ、再

開された現在では痛みがほぼ報告されず、神経症状も聞かなくなったので接種されるようになってきましたが、勧めることはしばらくとを考えています。

乳幼児健診などのタイミングで勧めることは可能ですが、できれば教育委員会を通じて、子どもたちへの通知から保護者へと届けることができればよいと考えていますが、いかがでしょうか。

委員 学校としては、子どもたち本人には勧めていきますが、保護者に学校から勧めるとなると、チラシ配布等は可能だと思いますが、全体としては難しいです。

委員 去年までは大学の授業が中止になった時期で、女子学生たちは子宮頸がんワクチンを打っておらず、封筒が届いているかどうかさえも把握できていませんでした。そこで昨年の授業でこの話題を持ち出して、自分たちでリスクとベネフィット(利益・恩恵)について、どちらの確率が高いかを考えてもらったところ、次々と接種するようになりました。そういう教育の機会が少ないのですが、中高でもできるとよいと思います。

委員 就学前の子どもをお預かりしていると、子どもの病気だとすぐに病院に行かれますが、保護者本人の体調不良となると市販の薬だけにするなど、自分の身体に関心を向けないようになっていきます。体調不良を若さでごまかすことがよくあるので、託児付きの健診はよいことだと思います。

また、園では子育ての座談会は行いますが、お母さん自身についての座談会も必要だと感じました。

会長 特にお母さん本人については、データが出ていても病院に行かないケースがよくあります。園とコラボができるとよいと考えています。

委員 給食では郷土料理などを通じて、昔からある料理を食べてもらい取り組みをしています。地場野菜の利用もJAの協力を得ながら取り入れています。ただ、「今日はこれが地元の野菜ですよ」とまでは言えていないので、それを知らせることができるとよいと考えています。

会長 家で郷土料理を作るのは簡単ではないので、深追いができるとよいと考えています。地元の野菜とわかって食べると話題にもなるので、続けていただきたいです。

委員 健康推進員は全自治会に一人ずつおられるとよいのですが、おられないところもあります。

おられる自治会では健康診断の啓発に動いておられて、例えば婦人会がある自治会では、そこにお邪魔して、若いお母さん方にがん検診を勧めています。

そこで乳がんの方がおられて、一回がんになったら検診をしてもらえないという話を聞いて驚きました。そういう人ほど身体のことを考えておられるので、がん検診を受診させていただきたいと感じました。

食育については、子育て支援やサロンに行くとともに、高齢者のフレイル予防についても、内容をお伝えしています。

会長 がん検診は一度がんになると受けられないのでしょうか。

事務局 がんになると、経過観察を受けることになるので、そういう方は経過観察で受けるようになっていきます。

- 会長 ほとんどのがんで5年間はフォローされ、がんによっては、もう少し長くなるものもあります。その期間でがん検診を受けると後の対応が大変になるのですが、実際に受けてしまう方がおられる現状です。
- 事務局 医療機関で終了となられた方については、市の検診を受けておられる方もいるので、絶対に受けられないことはないです。
- 会長 情報が伝わっていなかった可能性もあるので、注意してフォローできるようにしていただくようお願いします。
- 委員 食育担当の仕事の前は営農指導をしており、米原市の小学校に食育の授業をしてくださいと言われると出向している立場でした。4、5年前は学校側からこの授業をしてほしいというご依頼が多かったですが、最近は子どもたちからの提案型の授業が多くなっており、なかなか食にたどり着かない授業が多いです。あらかじめ学校側から食に対する授業をしてほしいと入れてもらえると、食について扱いやすいと感じています。
- 委員 基本方針3について、「社会環境の質の向上」がわかりにくいということですが、基本方針1と2は個人向けの内容で、基本方針3は皆でやろうということが見えてしまうので、1と2と3を繋げるのであれば、イベント等に参画して社会を構築していくような形にし、その場を作るのは横の連携といった内容にすればよいのではないのでしょうか。
- 委員 学校ではいわゆる探求的な学習、子どもたちが興味を持ったことについて、自分たちで様々な手段を使って調べて、そこで学んだことを次のステップに活かしていこうという学習形態があります。その中で食育を扱うのは難しいです。現状では給食センターだけが中心となる話になってしまうので、JAでも扱えるテーマだということを学校側にも広めていければと思います。
- 委員 身体活動について、前回の会議でもイベントに人が集まらないと話しましたが、子どもたちを巻き込むと集まるのではないかとご意見をいただいて、会に持ち帰って、話し合いました。まだ2つの自治会しかできていませんが、ニュースポーツのモルックであれば小さな子どもから高齢者までできるので、地道にしていければと考えています。
- 委員 子宮頸がん予防のワクチンについて、テレビでよく言われていて、毎日のように頭に残っています。メディアの力は強いと感じました。
- 会長 子宮頸がん予防のワクチンについて、例えば子どもたちの健康だけではなく、保護者の健康が大事ということで、説明会でチラシを配布する、あるいはワクチンは小6から高1までが対象なので、学校で子どもたちへの説明の際に親御さんも一緒にどうですかという案内を出せるのではないのでしょうか。
- 会長 広報は上手く使うと非常に有効な手段となります。
- 委員 歯と口腔については、歯の噛む力の問題が出てきています。例えば、ガムに粒子を混ぜて、噛む力によって色が変わるガムがあります。一方で、どこでどう噛むかで噛む力は変わるので、噛む力は研究段階の域を出ていない状況にあります。噛む力という問題は次の時期には扱うことになると考えています。

- 委員 歯について、農協の広報誌の先月号に歯周病の記事を掲載しました。図書カードを渡すのでお便りをくださいとしているのですが、今回は歯について、もの凄いくらいのお便りが返ってきました。皆さんが興味を持っていると痛感しましたので、高齢の方へのフォローも必要かと思えます。
- 事務局 農協の広報に健康等に関する内容を掲載することは可能なのでしょうか。
- 委員 事前に言ういただければ、割り付けをします。
ただ、市の広報誌の方が圧倒的に読んでもらえるように思います。我々の広報誌は家にあっても若い方には読まれません。狙っているポイントは小中学生のお子さんがある世代なので、そういう方への発信も兼ねてご相談いただけるとありがたいです。
フレイル予防でふれあいサロンを今年再開しました。かつては保健師に相談いただく機会があったのですが、人件費のために保健師をカットされていて、再開しようにも保健師がいなくてできない状況にあります。できれば市に支援してもらいたいと思います。
- 委員 地域の食について、居場所自体は再開されているのですが、お昼までで、食事などは止めているところがほとんどでした。勉強の場は多いのですが、ご飯を食べる場がない、弁当を作る人がいないという状況になっています。食が出しにくい現状にあるので、どうしていくかが難しいです。
歯と口腔については、障がい者の方は歯磨き自体されないこともあるので、何か対策ができるとよいと考えています。
- 委員 おにぎりや蒸しパンを提供する形で進めていますが、お弁当を作ってほしい、その場で食べられるようにしてほしいという話が出ています。さらに物価が上がっていますので、その負担をしていただく必要があります。今年度中には食べられるようにしたいと考えています。
- 会長 飲酒について、女性の飲酒量が増えています。アルコールの飲み過ぎによって何が起こるかを周知しないと対策は難しいです。
- 委員 飲酒する妊婦の数が減らないのはなぜでしょうか。危険性は十分に周知されているはずなのに、減らないことに疑問を感じます。
- 会長 私個人の考えですが、救急外来を見ていると、子どもと親の付き合い方が変わってきて、「子ども大事」という考えよりも、「子どもは子ども、自分は自分」という考えがあるのではないのでしょうか。
- 委員 最初の子どもは不安で、高熱になれば慌てて救急に駆け込んで、心配していた経験はあります。しかし、子どもへの関わり方は価値観の多様化で昔より変わってきたと思います。
- 委員 子どもと親の関係は急速に変化していて、飲酒についても、本当に大変だったお母さんもいて、ストレスも多かったと思います。ゆとりのある生活が難しい中で、横の繋がりを大事にしていけるように活動しています。
- 会長 不登校児について、水だけには興味関心のある子がいて、その子に水生生物に関わる様々な事柄をやってもらうことで上手くいったケースがあります。そういう

経験は、保護者にとってもプラスになります。

計画で行くと、「これがダメ、これがダメ」の積み重ねになりがちですが、できることに着目していくことも大事かと思いました。

「3 自殺対策」について、いかがでしょうか

委員

自殺予防教育は学校でも必要であると文科省から通知されているので、小学校では具体的に自死がどうかは難しいですが、中学校になるとその話も扱えるようになります。具体的には、命の大切さという形で人権擁護委員の方にお話をさせていただいたり、助産師に来ていただいたりなど、中学校で命の大切さについてお話をさせていただきました。直接的ではありませんが、学校でも命の大切さを扱っている状況です。

自死をテーマにより踏み込んだ話ができるとういのですが、デリケートな話題ですので、子どもが自死に興味を持たないよう取り組んでいます。

委員

例えば子育て支援センターなどで相談する、少し子どもと離れて過ごすなど、昔よりもお母さんをサポートする体制はできているように思います。就学前の職員もかつては子どもの保育だけでしたが、お母さんも支えるという役割も大きくなってきたと感じているので、事業を紹介しながら支えていきたいと考えています。

(2) 令和5年度健康づくり推進協議会開催予定〈健康まいばら21(第3次)計画の協議スケジュール〉

事務局

資料2 説明

会長

次回協議会においても、今回の協議会で触れた内容について言及してもよいので、ご意見があればよろしくお願ひいたします。

(3) その他

事務局

市が実施する健診の受診勧奨について、チラシを作成させていただきますので、委員の皆様のお手元にお配りしております。自治会長や健康推進員には既にご協力をお願いしておりますが、委員の皆様にも可能な限り掲示等をお願いしたいと考えております。

本日は長時間に渡り、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。これをもちまして、令和5年度第1回米原市健康づくり推進協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。